

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○11月1日～

米国の株価の強い状態が続いています。
カナダ、米国など北米の国は金融緩和縮小（テーパリング）を順調に進めています。
また、資源国通貨もエネルギー価格の上昇などから強い動きを見せています。
今週は中央銀行関連の指標発表が多く、各国の金融政策の行方に注目です。
円は1人負けの状態が続いていますが週明け、衆議院選挙の結果を受けて、海外勢が日本株を買ってくるのか売ってくるのかも気になります。

<ドル/円>

ドル/円は114円を挟んで方向感がわかりにくくなってきましたが112円を割り込まない限り、強い動きが継続しているので、押し目買いを狙っていきたいです。

<気になるクロス円>

クロス円は、オセアニア通貨、カナダドルなどは強い動きですがユーロやポンドなどは反落してきました。チャートをよく見て、安値更新しそうなら買いは見送りです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では日銀金融政策決定会合議事要旨などがあります。
米国では10月ISM製造業景況指数、10月ADP雇用統計、10月製造業・サービス部門・総合PMI（改定値）、10月ISM非製造業景況指数、9月製造業新規受注、FOMC政策金利、パウエルFRB議長定例会見、9月貿易収支、前週分新規失業保険申請件数、10月雇用統計などが発表されます。
欧州ではドイツとユーロ圏で9月小売売上高、10月製造業・サービス業PMI（改定値）、ドイツで9月製造業新規受注、9月鉱工業生産、ユーロ圏で9月卸売物価指数、ラガルドECB総裁発言などがあります。
ほかには、オーストラリアと英国で政策金利、英国で英中銀資産買取プログラム規模、英中銀金融政策委員会（MPC）議事要旨の発表などがあります。